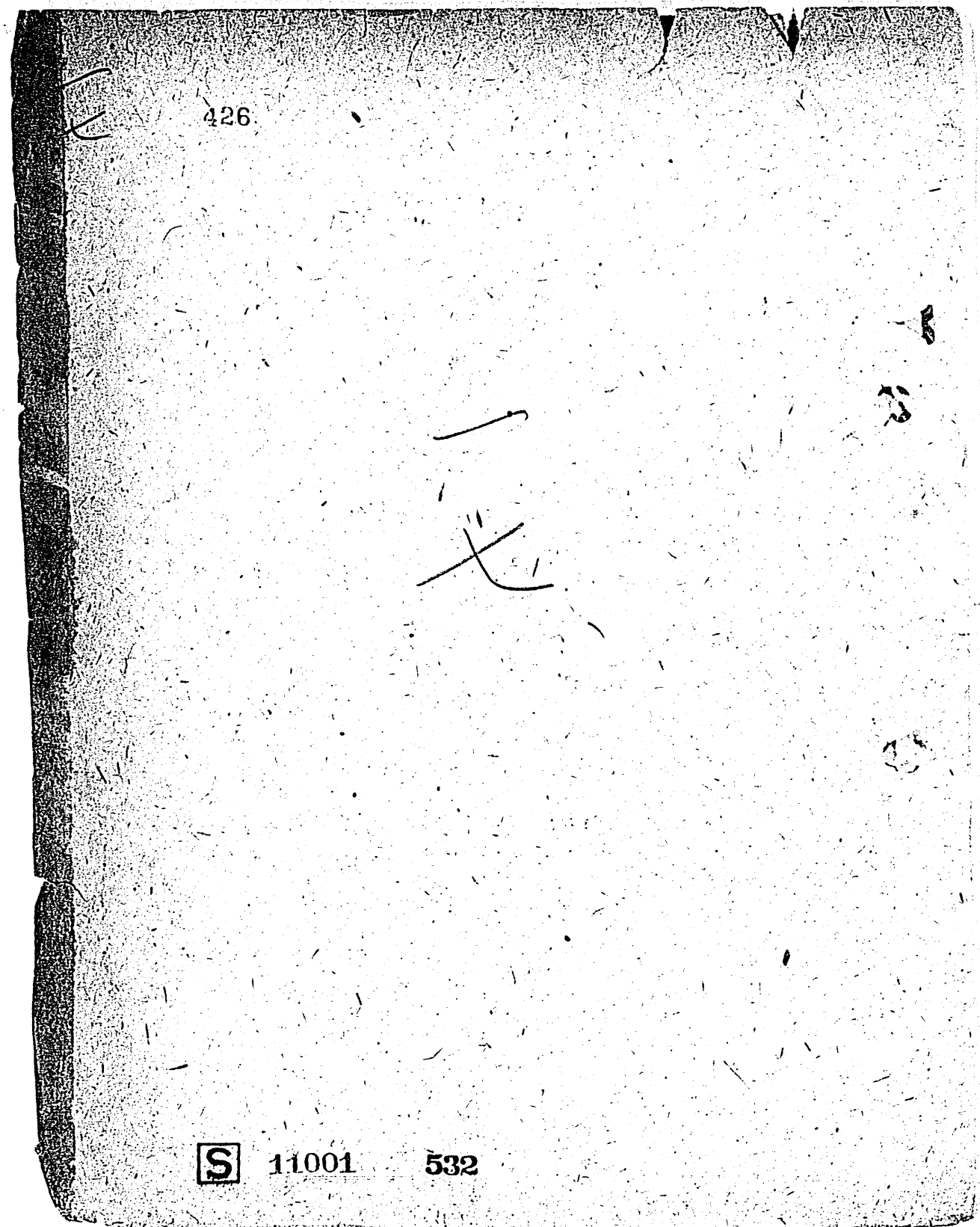




REEL No. A-0002

0331

アジア歴史資料センター

秘

新情勢ニ伴フ輿論指導要綱(案)

十五・十一・十八
與 亞 院

第一方 針

日支新國交調整條約締結ヲ契機トシテ世界情勢並ニ支那事變ヲ繞ル内
外ノ新情勢ニ應ジ東亞新秩序建設ノ根本方針ヲ再認識セシメ之ガ具體
化ニ一步ヲ進メタル所以ヲ明カニシ、對内的ニハ皇國ヲ繞ル内外ノ情
勢ニテ重大ナル所以ヲ明カニシ以テ眞ノ長期戦ニ對スル國民ノ決意
ト奮起トヲ促シ、對外的ニハ皇國不動ノ國策ヲ正確ニ認識シ東亞ノ新
情勢ニ順應セシムル如ク指導スルモノトス

第二要

一、最近世界情勢ノ一大轉捩ニ内リ支那事變ハ之ヲ世界的規模ニ於テ處
理スルヲ要スルニ至リタルヲ以テ抗日政權ニ對シテハ之ガ潰滅ヲ見
ル迄如何ニ長期ニ亘ルモ磨礱ノ矛ヲ緩メザルト共ニ國力ノ彈發性ヲ
保持スル爲、國ノ内外ヲ舉ゲテ長期戰態勢ヲ確立スルコト絕對ニ必

要トスル所以ヲ闡明ス

二、新條約ノ主要ナル諸點ニ關シ皇國ノ眞精神ヲ説明シ、本條約ノ趣旨
ニ從ヒ支那事變ヲ處理スルハ即チ東亞新秩序建設ノ眞體制ナルコト
ヲ周知セシム

而シテ支那ニ於ケル抗日勢力ニ對シテハ新中央政府ガ皇國ト協力シ
之ガ磨礱ヲ期スルコトヲ約セル點ハ亦新條約ノ特質ナルコトヲ明示ス
三、新中央政府ノ承認ハ皇國ノ支那ニ對スル恩愛ノ雅平不動ルコトヲ
表明セルモノニシテ今後ニ於テモ微動ダニセザルコトヲ明示ス
從ツテ新中央政府ハ東亞ノ和平ヲ妨害スル勢力ニ對シ皇國ニ協力シ
テソノ屈服ヲ見ルニ至ルマデ飽迄之ガ潰滅ヲ圖ルベキモノナルト共
ニ新中央政府ノ健全ナル發展ヲ擁護スベキ皇國ノ道義的的使命愈々重
大ナルコトヲ強調ス

四、支那民衆ニ對シテハ特ニ左ノ點ヲ強調スルト共ニ對支輿論指導ハ努
メテ支那側機關ヲシテ自發的ニ實施セシムル如ク指導ス



11001

534



11001

533

(一) 皇國ハ新中央政府ヲ今後支那ニ於ケル唯一ノ政府トシテ之ガ育成
 強化ヲ圖ルモノナルコトヲ明カニシ、支那民衆ハソノ傘下ニ於テ
 安居樂業ニ勤ムベキコト

(二) 從ツテ新中央政府ノ支持強化ニ努メザルモノハ之ヲ日支共同ノ敵
 性分子トシテ取扱フノ已ムナキニ至ルベキコト

(三) 新中央政府領導ノ下ニ重慶政權ノ屈服ニ邁進スルコトハ和平ヲ招
 來シ國ヲ救フノ唯一ノ路ナルコト

五、列國ニ對シテハ、東亞共榮圈ヲ確立シ長期戰態勢ヲ整備シ延イテ世
 界新秩序ノ建設ニ寄與セントスル皇國ノ公明嚴然タル態度ト東亞ニ
 於ケル發展の新事態トヲ率直ニ認識セシメ、以テソノ對極東政策ノ
 根本的轉換ヲ促スコトニ努ム

第一方 針

日支新國交調整條約締結ヲ契機トシテ世界情勢並ニ支那事變ヲ繞ル内
外ノ新情勢ニ基ク東亞新秩序建設ノ根本方針ヲ認識セシメ之ガ具體化
ニ一步ヲ進メタル所以ヲ明カニシ、對内的ニハ眞ノ長期戦ニ對スル國
民ノ決意ト奮起トヲ促シ、對外的ニハ皇國ノ確乎タル意圖ヲ正確ニ認
識シ東亞ノ新情勢ニ順應セシムル如ク指導スルモノトス

第二要 領

一、最近世界情勢ノ一大轉換ニ因リ支那事變ハ之ヲ世界情勢ニ於テ處
理スルチ要スルニ至リタルヲ以テ抗日政權ニ對シテハ飽迄チ收ム
ルコトナク之ガ潰滅ヲ圖ルト共ニ國力ノ彈撥性ヲ保持スル爲メ國ノ
内外チ擧ゲテ長期戰態勢ヲ確立スルコト絶對ニ必要トスル所以チ闡

明 ス

二、新條約ノ主要ナル諸點ニ關シ皇國ノ眞精神ヲ説明シ、本條約ノ趣旨
ニ從ヒ支那事變ヲ處理スルハ即チ東亞新秩序建設ノ眞體制ナルコト
ヲ周知セシム

而シテ支那ニ於ケル抗日勢力ニ對スル皇國ノ戰爭行爲ハ依然トシテ
繼續スルヲ要スル現狀ナルヲ以テ新中央政府ガ之ニ對應スル措置ヲ
構スルコトヲ約セル點ハ本新條約ノ要ナルコトヲ明示ス

三、新中央政府ノ承認ニ伴リ皇國ノ支那ニ對スル態度ガ確乎不動ニシテ
今後ニ於テモ微動ダセサルコトヲ明示ス

從ツテ新中央政府ハ日支共同ノ戰タル將政權ニ對シ皇國ニ協力シテ
ソノ屈服ヲ見ルニ至ルマデ飽迄之ガ潰滅ヲ圖ルベキモノナルコトヲ
強調ス

四、支那民衆ニ對シテハ特ニ左ノ點ヲ強調ス

(一) 皇國ハ新中央政府ヲ今後支那ニ於ケル唯一ノ政府トシテ之ガ育成



11001

537



11001

536

強化ヲ圖ルモノナルコトヲ明カニシ、支那民衆ハソノ傘下ニ於テ
 安居樂業ニ勤ムベキコト
 ㊦從ツテ新中央政府ノ支持強化ニ努メザルモノハ之ヲ日又共同ノ敵
 性分子トシテ取扱フノ已ムナキニ至ルベキコト
 ㊦新中央政府領導ノ下ニ重慶政權ノ屈服ニ邁進スルコトハ和平ヲ招
 來シ國ヲ救フノ唯一ノ路ナルコト
 五列國ニ對シテハ、東亞共榮圈ヲ確立シ長期戰態勢ヲ整備シ延イテ世
 界新秩序ノ建設ニ寄與セントスル皇國ノ公明嚴然タル態度ト東亞ニ
 於ケル發展の新事態トヲ率直ニ認識セシメ、以テソノ對極東政策ノ
 根本的轉換ヲ促スコトニ努ム

431

秘

更生新支那建設ノ概況

昭和十三年十月
内閣

S

11001

539

015

10021

2

REEL No. A-0002

0335

アジア歴史資料センター

趣 旨

本書ハ支那事變處理ノ根本國策ニ基キ更生新支那建設ニ關シ帝國ガ現ニ行ヒツツアル各般ノ協力ニ付具體的事例ヲ擧グ、各
 應ニ於ケル時局關係事務遂行上ノ參考トシ併セテ國民啓發ニ資センガ爲特ニ編輯シタルモノナリ。更生新支那建設ノ大業ハ
 今ヤ漸ク其ノ緒ニ就キタルニ過ギズ。從テ本書ノ内容ハ其ノ進展ト共ニ増補修正ヲ要スベキモノナリ。尙本書起草ノ趣旨ニ
 鑑ミ本書其儘ノ形式ヲ以テ新聞雜誌放送等ニヨリ發表スルコトハ禁ズルモ、本書ノ趣旨ニ依リ啓發宣傳ヲ行フコトハ差支ナ
 シ。

内閣情報部

S 11001 540

第一 政治ニ關スル事項

一、蒙疆方面

我軍ノ進出ニ伴ヒ張家口ニ成立シタル察南自治政府(九月四日)、大同ニ成立シタル晋北自治政府(十月十
 五日)及綏遠(厚和ト改稱ス)ニ結束ヲ固ケセル蒙古聯盟自治政府(十月二十八日)ハ昨年十二月二十二日
 蒙疆聯合委員會ヲ組織シ、關東軍次デ駐蒙軍ト協力ソ下ニ蒙疆ノ政務ニ當リ實績著々トシテ舉リ、治安
 維持亦最モ良好ナリ。

蒙疆聯合委員會ハ三政府ノ有スル權限ノ一部ヲ委譲セラレ重要政務ヲ處理セルモノニシテ、其ノ組織ハ
 當初總務、產業、金融、交通ノ四委員會ナリシガ、本年七月十九日之ヲ強化擴大シテ總務、產業、財政、
 交通、民生、保安ノ六部制ニ改メタリ。

二、北支方面

北支ニ於テハ事變勃發以來我軍ノ占據セル各地ニ治安維持會成立シテ一時的政務處理ニ當リ居タルガ、
 戰局進展ニ伴ヒ新政權樹立ノ氣運醸成シ昨年十二月七日中華民國臨時政府成立シ、同月十四日北京ニ於
 テ五色旗ヲ掲グ正式典禮ヲ行フニ至レリ。

S 11001

541

其の組織、議政、行政、司法の三委員會及行政委員會ニ屬スル治安、教育、實業、司法、賑濟ノ五部ヲ
 骨幹トシテ、本年八月内政部及財政部ヲ新設シ賑濟部ヲ他部ニ吸收セシメタリ。同日十四日北支ニ
 其の施政方針ハ分治合作ニヨル全國統一ニシテ、産業ヲ開發シテ民生ノ向上ヲ圖リ、日滿支ノ親善共榮ヲ
 二樞軸トシテ勸共ノ大事業ヲ完成スルニ在リ。現在河北省、山東省、山西省、河南省ノ四公署及北京、天津、
 青島三特別市ヲ管轄シ着々成果ヲ收メツツアリ。

三、中支方面
 中支那方面ニ於テモ南京陥落後新政權樹立ノ機運醗酵シツツアリシガ本年二月ニ至リ愈々其の運動盛
 ナリ、三月二十八日南京ニ於テ中華民國維新政府五色旗ノ下ニ誕生シ逐次其の治績ヲ舉ゲツツアリ。
 其の組織ハ北支ニ於ケル臨時政府ニ準ジ三院七部制トシ又其の政綱ハ臨時政府ノモット同ジ。
 四、厦門方面
 厦門ニ於テハ同島占領後二ヶ月餘ニシテ本年六月三十日治安維持會成立セリ。同島ハ戰禍ニヨル破壊損
 失皆無キリ、依リ治安極メテ良好ニシテ、避難中ノ支那民衆ノ復歸モ早く、通信、交通、電氣、水道
 等亦復舊改善セラレ、金門島ノ粘土、磁砂、鹽等ノ開發、厦門西岸棧橋ノ建設等着々其の緒ニ著キツ
 アリ、市内概ネ事變前ノ狀況ニ復セリ。

第二 經濟ニ關スル事項

一、北支及蒙疆方面

北支經濟開發ノ目標ハ日滿經濟ノ綜合的關係ヲ補強シ以テ日滿支提携共榮實現ノ基礎ヲ確立スルニ在
 リ。之ガ爲支那現地資本及技術ヲ緊密ニ結合セシメテ經濟各部門ヲ開發整備シ以テ秩序ノ維持、民衆生
 活ノ安定ヲ圖リ併セテ日滿兩國ニ亘ル我が廣義國防、生産力ノ擴充ニ資スルモノトス。

以上ノ見地ニ基キ北支ニ於ケル經濟開發ヲ促進シ其ノ統合調整ヲ圖ル爲メ日本法人タル資本金三億五千
 萬圓ヲ北支那開發株式會社ヲ設立スルコトトシ、其ノ法律四月二十八日公布セラレ來ル十二月^{上旬}ハ
 設立セラルル豫定ナリ。

現在右會社ニ關聯スル事業會社ヲ設立セラレタルモノ左如シ。

(一) 蒙疆地方

(イ) 郵政通信關係

蒙疆聯合委員會ニ郵電總局ヲ設置シ郵便、電信、電話及放送事業ヲ行ハシムルト共ニ電氣通信施設
 國建設維持ニ當ラシムル爲本年三月五日蒙疆電氣通信設備會社ヲ設立セリ。

S

11001

543

S

11001

542

2

四

(一) 蒙疆地域内に於テ電氣事業ヲ營ム目的ヲ以テ蒙疆電業會社本年五月二十七日設立ヲ見タリ。資本金六百萬圓、蒙疆各政權、蒙疆銀行、東亞電力興業及興中公司ノ出資ニ係ル。

(八) 蒙疆銀行

蒙疆地方ノ通貨ヲ統一シ金融ノ安定ヲ圖ル爲昨午十二月一日蒙疆各政權出資ノ下ニ千三百萬圓ノ資本金ヲ以テ設立セラレ、既ニ同地方通貨ノ蒙疆銀行券ニ依ル統一ニ略々成功ヲ收メタリ。

(二) 北支

(イ) 華北電信電話株式會社

華北電信電話株式會社ハ北支那ニ於テ電信電話其他ノ電氣通信事業ヲ營ム目的ヲ以テ資本金三千五百萬圓ヲ以テ本年七月三十一日設立セラレタリ。中華民國臨時政府、北支那開發會社、國際電氣通信株式會社、日本電信電話工事株式會社及滿洲電信電話株式會社ノ出資ニ係ル。

(口) 中國聯合準備銀行

北支那の通貨ヲ統一シ其ノ安定ヲ圖ル爲、中華民國臨時政府及支那側主要銀行出資ノ下ニ、資本金五千萬圓ヲ以テ中國聯合準備銀行設立セラレ、本年三月十日開業シ爾來着々トシテ其ノ成果ヲ收メツツアリ。

○ 膠澳電汽公司ノ増資

事變前ヨリ青島ニ於テ電氣事業ヲ營ミ居リシ膠澳電氣公司ノ迅速ナル復興ヲ圖ル爲其ノ資本金二百萬圓ヲ八百萬圓ニ増資シタリ。

(三) 青島埠頭株式會社

青島埠頭及倉庫業務ノ圓滑ナル運行ヲ圖ル爲資本金二百萬圓ヲ以テ青島埠頭株式會社ヲ設立シタリ。關係船會社、滿鐵及貿易業者等ノ出資ニ係ル。

二、中支方面

中支那方面ニテハ上海ヲ據點トシ該方面ニ於ケル經濟的發展ノ基礎ヲ確立スルト共ニ、日支共榮ノ精神ニ基キ該區域ニ於ケル經濟ノ復興及建設ヲ助成シ、且主要産業及公共の性質ヲ有スル諸事項ハ之ヲ統一のニ指導スルモテ振ス。又同支中戰時經濟聯合會ヲ創立スルニ有テハ、其戰時經濟問題ニ對シテ、

五

S

545

S

544

544252

2

（金）中華鐵鑛株式會社

(四) 上海內河汽船株式會社

(八) 華中電氣通信株式會社

中華電業株式會社

(ホ) 華中蠶糸株式會社

(5) 上海恒產株式會社

(下) 華中水產株式會社 內文雅人 總務部長 二樓之八 取組日之六 日支共司總務部 三樓之六 取組日之六

(4) 在支紡績業ノ復興及擴張ハ、輸入品ノ削減ヲ圖ルヲ以テ、清國ニ對シテハ、大浦ニ據リ、三十萬鎊ノ設備

S

547

2

S

546

room

2

又支那民心ノ安定、日支文化ノ提携ヲ圖ル爲、日本放送協會ノ進出協力ニ依リ北支方面ニ於テハ本年一月一日北京中央廣播電臺(現在電力五〇キロワット、近ク百キロワットニ増強ヲ見ル等)開設セラレ、又中支方面ニ於テモ上海其他ニ放送局ノ設置ヲ見、其ノ實績見ルベキモノアリ。現在新政權管下ニ於ケル放送局ノ主ナル所在地左ノ如シ。

北京、天津、濟南、青島、石家莊、太原、張家口、上海、南京。

第三 文化ニ關スル事項

文化ニ關シテハ各方面共日支共通ノ文化ヲ尊重シテ東洋精神文明ヲ復活シ抗日的言論ヲ徹底禁壓シ日支提携ヲ促進スルヲ主眼トシ着々實績ヲ擧ゲツツアリ。

(一) 青島上海ニ於ケル破壊サレタル邦人紡ノ復興ヲ圖ル爲、青島ニ對シテハ九社ニ對シ三十九萬圓ノ範圍内ニ於テ其ノ復興ヲ認メ、上海ニ對シテハ豐田、日華二社ニ對シ相當程度ノ復興ヲ認ムルコトトシ各社夫々復興ニ着手セリ。又天津ニ於テハ事變前ヨリノ邦人紡績ノ擴張計畫アリタルニ對シ二十五萬圓ノ限度ニ於テ其ノ擴張ヲ認メタリ。尙占領地域内支那人經營紡績ニ對シテハ原則トシテ日支共同經營ニ依ル操業開始ニ努力シ居レリ。

(二) 關稅改正、事變前ノ支那排日關稅ヲ是正スル爲臨時暫定ノ措置トシテ原則トシテ一九三一年ノ稅率ニ則リ北支、中支ヲ通ズル關稅ノ改正ヲ行ヒ六月一日ヨリ實施セリ。之ニ依リ從來ノ差別的高關稅ハ概ネ緩和セラ

極秘

438

電信寫

昭和15 三四八九〇 (暗) 羅馬 十一月二十三日發 歐
本省 二十四日夜着

松岡外務大臣

天羽大使

第一一八三號ノ一(極秘)

二十三日朝「ムツソリーニ」ヲ訪問「チアノ」臨席ス「ム」先ツ
本使ノ離任ニ對シテ極メテ懇切ナル挨拶アリタルニ付本使モ暇乞
ノ挨拶ヲ爲シタルカ「ム」ハ次イテ日伊間ハ三國條約締結以前ヨ
リ事實同様ノ關係ニアリタリトテ日伊友好關係ヲ強調シタル後日
本力速ニ支那事變ニ對シテ成功センコトヲ祈ルト旨ヘルニ付本使
ハ之ニ和シタル後伊太利カ常ニ日本ノ政策ヲ支持セル次第ヲ謝シ
タルニ「ム」ハ自分ノ考ニテハ日本ハ此ノ際出來得ルタケ蘇聯及

S

11001

550

支那ニ對スル關係ヲ緩和シ先ツ英國次イテ米國ニ當ルヲ至當トス
ルカト思フト述ヘタルニ付本使ハ多分御聞込ノコトト思ハルルカ
目下我國ト蘇聯トノ關係ヲ改善スル爲ニ交渉ヲ爲シ居リ又支那ニ
對シテハ汪政權トハ條約ヲ調印スル運トナリ居ルモ蔣介石政權内
ニ動搖アリテ和平ノ氣運モアル様子ナルヲ以テ若シ出來得レハ蔣
政權ヲモ抱込ム積リニテ進ミ居リ他方獨伊トノ關係ヲ出來得ル限
リ強化シ英國ニ當ラントスル方針ニテ動キツツアルヤニ思ハルト
述ヘシニ「ム」ハ蘇聯邦トノ話合ハ成功スルヤト聞ケルニ付本使
ハ詳細ハ知ラサルモ我方ニ於テハ成功スル積リナルカ如シ唯自分
ノ蘇聯邦ニ對スル經驗ニ依レハ蘇聯相手ノ仕事ハ仲々六ヶ敷ク殊
ニ蘇聯ノ考方ハ可ナリ複雑ナルヤニ認メラルト答ヘシニ「ム」ハ

S

11001

551

電信寫

439

極祕

自分ノ考ハ此ノ際日本ハ蘇聯ト大キナ根本問題ヲ極メルヨリモ兎
モ角先ツ少シテモ「デタント」シ得ル問題ヲ極メル方賢策ナルヤ
ニ思フト述ヘ（續ク）

S

11001

552

REEL No. A-0002

0343

アジア歴史資料センター

極秘

440

電信寫

昭和15 三四八八四 (暗)

羅馬 十一月二十三日發
本省 二十四日夜着

松岡外務大臣

天羽大使

第一一八三號ノ二(極秘)

次テ蔣政權ハ妥協スヘキヤト問ヒタルニ對シ本使ハ蔣政權ハ大分
弱リ居ル様子ナルモ自分限りノ印象ニテハ蔣介石ハ仲々抗爭ヲ止
メサルヘク之ヲ抱込ムモ簡單ニハ行カサルヘシト思フト答ヘタル
ニ「ム」ハ右ハ外國ノ援助アル爲カ何國カ援助シ居ルヤト問ヘル
ニ付右ハ支那特異ノ狀態ニ依ルモノナルモ尙蔣政權ハ英米蘇聯邦
等ノ有形無形ノ援助ヲ頼ミトシ居ルナルヘシト答ヘタル後蘇聯邦
及支那ノ日本ニ對スル關係ハ鮮カラズ歐洲戰爭ノ情勢ニ支配セラ

S

11001

553

ルヘシト述ヘタルニ「ム」ハ甚ニ同感ナリト言ヘルニ付本使ハ戰
争ハ永長キ且益々深刻トナリツツアルニアラスヤト言ヘルニ「ム」
ハ自分モ全然同様ニ考ヘ居レリト強ク述ヘタリ

ニ次テ本使ハ過日貫總理ノ演說中ニ獨伊ハ佛國ニ對スル要求ヲ貫徹
ストノ意味アリシカ佛國ハ之ヲ容ルルニ難色アリヤ又佛蘭西ノ阿
弗利加及亞細亞ニ於ケル植民地ハ如何ト問ヒシニ「ム」ハ伊太利
ノ要求ハ平時ノ場合ト同様ニテ正當且合理的ノモノナリ獨逸モ亦
然リ併シ亞細亞ニ於ケル佛領植民地ニハ觸レ居ラス尤モ「蘭印」ノ
立場ハ「ト」言ヒ掛ケテ「日蘭交渉ハ如何ニナレルヤ」ト問ヒシニ
付目下尙交渉中ナルモ三國條約ノ結果英米ノ壓迫益々加リ來リタ
ルヤニ聞キ及ヘリト答ヘタル上伊太利ノ蘭印ニ對スル態度ハ明カ

S

11001

554

極秘

441

電信寫

ナルモ獨逸ハ如何ト反問セシニ「ム」ハ判然シタルコトヲ聞カス
ト答ヘタリ
右話中ニハ伊太利及「フアシズム」ニ關スル雜談等アリタル爲最
早ヤ三〇分近ク經過シタルカ此ノ時隣室ニテ待チ居ル閣員等ノ
「ム」接見時間ニ大分喰込ミタル爲爾餘ノ問題ハ近日「チアノ」
トノ會見ニ譲リテ辭去シタリ
獨、餘ヘ轉電セリ
蘇ヨリ英ヘ轉電アリタシ
往電第一一八一號獨、餘ニ轉電シ蘇ヨリ英ニ轉電セシメタリ

S

11001

555

REEL No. A-0002

0345

アジア歴史資料センター